



こんにちは！川前地区地域おこし協力隊の長郷優佳です。  
美しい新緑を眺め、美味しい山菜や筍を食べ、川前町の初夏を満喫しています。苗が植えられた田んぼに、気持ち良さそうな風が吹いているのを見ると、これからの夏や秋も楽しみになります！

## 「男女の違い」について

男性と女性は身体的にも思想的にも違いがあります。その違いについていくつかご紹介します！

生まれた時の身体的特徴により割り当てられた法律上の性（男性 / 女性）は、異なる特性を持っていると言われています。2つの性別の特性のうち、「〇〇の方が優れている」ということはありません。しかし、**3組に1組の夫婦が離婚する日本**では、相手の行動や考えを受け止め、寄り添い合える関係性を築くことが、夫婦円満の秘訣だと言えます。（**離婚理由の第1位は男女共に「性格の不一致」**）

### 【男性が得意な分野の例】



物を標的に  
当てる



物体操作



状況の  
長期的な結果を  
考えること

「男なんだから」と過度に期待されたり ...

ヒトの特性は、  
生物学的に  
調整されるだけでなく、  
周囲の環境や社会からの  
影響も受けています

### 【女性が得意な分野の例】



単語や関係する  
話題を思い出す



文字や数字、  
物体の名前を  
素早く答える



失敗を  
回避するように  
決定すること

「女なのに」と行動を制限されてしまったり ...

「女性は10歳前後で、脳が合理的・効率的な働きを始めるが、男性は20歳頃になるまでその働きをしない。つまり、**男女の精神年齢は約10年の差**がある。（マーカス・カイザー）」

「結婚（で苗字が変わる）」「出産」「職場復帰」「閉経」など、**様々なシーンで行動を制限されてしまう女性は、現実的な思考をしなくてはならない場合が多く、精神年齢が高くなります。**

一方、男性では、「男が支払うべき」「プロポーズは男性から」という、**男らしさを求められる風潮**にうんざりしている人が多く、**恋愛や結婚に対してネガティブなイメージ**があるそう。

（告白経験アリ 20代：男性 33%・女性 39%）

「察してほしい慎重派な男性と、白黒ハッキリさせたい現実主義派な女性」という表現をよく耳にします。男性の皆さんにとって、女性の話は長いかもしれませんが、女性は「あなたに話を聞いて欲しい」と思っています。女性の話をわざわざ遮ってアドバイスしてくる男性がいるかもしれませんが、それは「あなたの悩みを解決してあげたい」と思っているだけなのです。

「自分がこうだから、相手もこうだろう」と決めつける考え方は、**相手も自分も傷つく結果**となってしまいます。**違いを受け止め、相手への感謝の気持ちを大事**にしましょう。